

時事エッセー

情報誌「じんせい」掲載

令和2年4月～令和3年3月

時事
エッセー

体感温度と気温



仁生会理事長
細木 秀美

先月、いまだ3月初めだというのに、城西公園の梅も散り、すでに早咲きの桜が咲いていた。南国土佐といわれる高知でも、例年1月末から2月初めにかけて

は、夜中に街を歩いていると、手袋をはめた指の先がチンチンと冷えてくる感覚があったが、今年は何度もそんな寒さの感覚を経験しなかった。そして、例年、受験期の3月になると、もう一度、寒さが戻って来る気がしたが、今年を感じなくて、そのまま桜の季節へ移行した感じがした。

寒さや温かさを感じるのは温度だけではないと、前々から感じていたが、風がなくても、空気自体は冷たいと感じる時がある。「寒さ」を感じる日には、なぜだろうといつも思っ

ていた。体が寒さを感じると、首をマフラーで巻いたり、ハイネックのセーターを着ると、防ぐことができる。また、足のくるぶしのところを厚めの靴下を履いたり、ブーツを履くと暖かく感じる。さらに、ジャンパー等のフードをかぶると、顔のまわりが急に暖かく感じて気持ちがいい。仕事に行く時に、急に暖かくなって、お日様を背中に受けると、暖かさから、暑さに少しずつ変化してきた。インフルエンザや新型コロナウイルス、アレルギー性鼻炎を予防するためのマスクは、防寒にも都合がいいが、暖かくなると外したくなる。寒さを感じる事が少なくなったのは、最近は何のせいかな、夜中に街を歩くことが少なくなったせいかなあ。しかし、暖かくなっても、高知でも、新型コロナウイルス感染症対策で外出もままならないし、外出には少し不安を感じる昨今である。

3密は400年前にも



仁生会理事長
細木 秀美

今、世界では、新型コロナウイルスが猛威を振るい、世界中がパンデミックに陥っている。わが高知県でも、新型コロナ感染者は70名を超した。100名以上になるのは時間の問題

だろう。身近に、新型コロナを感じざるを得ない。病院でも、一般外来と発熱者外来は、完全に分かれて診療している。小池東京都知事が提唱した「3密」＝「密接するな」「密閉するな」「密集するな」。この3つが、今ほど大切なときはない。マスクだけでは、目から侵入するウイルスを防御できないので、顔面全体を覆うことが必要である。

実は、今から約400年ほど前にも、同じことが提唱された時期がある。それは、ヨーロッパの全人口の3分の1が死亡した、黒死病といわれ恐れられたペストの蔓延時である。ネズミが媒介し、香港でも発生し、多数の死者

が出た。また、文藝春秋5月号で磯田道史氏は、200年前のコレラの流行時、日本でも江戸で多数の死者を出し、100年前のスペイン風邪でも、世界18億人の半分から3分の1が感染し、3～5%が死亡していると述べている。

日本での新型コロナによる死亡者は、1万数千人感染して350名ほどで、世界で最低の部類だ。これは、医療だけではなく、衛生観念の高さかもしれない。基本的な公衆衛生が、国民に浸透していることが大きいと思われる。日本人は、人に会ったときはお辞儀をする。外国では、ハグしたり、キスしたりと、濃厚接触だ。宗教的にも厳しいイスラムやイタリアのように、宗教施設で感染を起こすことも少ない。家の中に土足で上がることもない。このような生活習慣が日本に根付いていることも感染が少ない一因かもしれないなあと思う。しかも、日本人は、お上からの指令には従う習慣もある。いずれにしても、一刻も早く終息してほしいなあ。

情報誌「じんせい」令和2年5月号掲載

連休は読書三昧



仁生会理事長
細木 秀美

新型コロナウイルスの蔓延で、4月に国から行動の自粛要請が出た。仕事で病院に出かける以外は、ほとんど外出しないでいたが、5月のゴールデンウィークは何もすることがな

いので、何十年間も書齋にたまり続けた古い本で、興味のないものを処分することを連休中の仕事にしてみた。すっかり忘れていた面白そうな本を見つけると、整理が中止となって、なかなか進まない。多々の中で、昭和31年書き下ろしの、ほこりをかぶった司馬遼太郎の随筆集「風塵抄」を見つけて読んでみた。上手な文章だし、読む人を感激させる文章力と共に、その博学にも驚いた。

もう1冊、新聞の広告欄で見つけた、新刊「ツバメの秘密」を買って読んだ。昔は、空中の虫を捕食するために、たくさん身近に飛び回っていたツバメは、あちこちの家の軒下の巣も、いくらでも目にすることが多かった

が、今は、なぜだかほとんど見かけない。ツバメは、毎年、暖かくなると南の国からの日本にやって来る渡り鳥で、空中の虫を獲っていることしか知識がなかった。そして、毎年、同じ軒下の巣に戻って来て子育てをして、秋になると南の国へ渡って行くと思っていた。ところが、ツバメの寿命は平均1.6年しかないらしく、生まれた子どもは、渡りの最中に事故に遭って、わずか数%しか戻って来ないらしい。いつも同じ巣へ、何年間も戻って来ては、子育てしているとばかり考えていたが、実際は違うツバメが戻って来ていたのだ。巣の中の子どもも、夫婦の卵からかえった子どもだけではないらしい。雌が、他の雄と浮気をしてきた子どももいるらしい。欧州のツバメには浮気が多くて、アジアや米国では少ないらしい。国によっては、あの可愛らしいツバメを年間10万羽も食用にしているところもあるらしい。

今まで、知っているとはばかり思っていた、私の中のツバメに対する常識が覆ってしまった、コロナ対策の自粛の中の連休だった。

情報誌「じんせい」令和2年6月号掲載

酒のチャンポンは悪酔い？



仁生会理事長
細木 秀美

親 父に似て、私もお酒は好きな方だったが、最近は2日酔いするほど飲むことは、まったくなくなってしまった。若い頃は、1次会では食事と一緒にビール、日本酒、2次会と3次会

では、ウイスキーの水割りやカクテルを飲んで、相当酔っ払って帰宅するのが常だった。翌日は、もちろん2日酔いで、点滴までしてしまったこともあった。今では、缶ビール1本と、興にのればワインの1杯で十分酔っ払ってしまう。最近はコロナ騒動で外出を自粛して、自宅ですり酒していると、少しずつ飲む量が増える気がして用心している。

先日、ある雑誌を読んでいると、色々の種類のお酒をチャンポンして飲んでも、酔い方には関係ないことが証明された、という論文が出ていた。ドイツの大学の科学者が、ビールとワインをチャンポンで飲んでも、順番を変えても、酔い方には変化はなくて、飲めば

飲むほど、同じように酔ってしまって、2日酔いが待っていることを証明した。だから、安心してチャンポンを楽しんでほしい。

ところで、ウイスキーは水を少し加えるとおいしさが増すことは、よくいわれているが、これについても、スウェーデンのリンネ大学の科学者の研究が、科学雑誌ネイチャーに載った。それによると、少量の水を加えると、ウイスキーの表面に香り成分グアヤコールを浮かび上がらせるらしい。私の好きなアイラ島のスモーキーなウイスキーは、フェノールの化合物のグアヤコールが多いらしい。家内に言わせると、アイラのウイスキーは消毒薬のにおいがして、好みではないと嫌がられる。ちなみに、スコットランドのウイスキーは、米国やアイルランドのウイスキーよりもグアヤコールを多く含んでいて、香りがおいしさになっているようだ。私も、最近は時々、アイラ島のウイスキーを少量オンザロックで楽しんでいるが、おいしい原因が分かって納得した。

情報誌「じんせい」令和2年7月号掲載

先人の健康十訓



仁生会理事長
細木 秀美

今 から30年ほど前、私が50歳に手が届く頃、「じんせい」に、毎月、時事エッセーを書くのがしんどくなって、困って、いろいろの雑誌の中から、材料あさりをしていた時期があった。

ところが、新型コロナの影響で自粛中の先日、昔の古い書類の入った箱を納戸から引っ張り出して、探し物をしていたときのこと、数十年前、長野医報299号に書かれていた随筆の切り抜きがでてきた。江戸時代の健康に関する教えと言うと、真っ先に浮かぶのが、儒学者、本草学者で漢方医の貝原益軒(1630-1714)の書いた有名な「養生訓」を思い浮かべる人が多い。しかし、30数年前、切り抜いて保管していた、セピア色に変色し、文字も薄くなってしまっていた長野医報の随筆に、江戸時代の元禄15年(1702年)生まれの俳人、藤井也有が書いた『健康十訓』がでてきたので披露したい。

- ①小肉多菜・肉類は少なめにして、野菜を多く摂ろう。
- ②小塩多酢・塩分は少なめにして、酢を多用しよう。
- ③小糖多果・甘いものは控えて、果物を食べよう。
- ④小食多咀・たくさん食べないで、よく噛んで食べよう。
- ⑤少衣多浴・普段は薄着をして、風呂によく入ろう。
- ⑥少車多歩・車には、できるだけ乗らないで、歩こう。
- ⑦少煩多眠・いろいろ悩まないで、眠よう。
- ⑧少念多笑・クヨクヨしないで、笑おう。
- ⑨少言多行・大口をたたかないで、行動しよう。
- ⑩少欲多施・欲しがらな。他人に施そう。

300年程も昔の教えが、現在でも、十分に皆で気を付ける教えであることに驚くと同時に、生活習慣の改善が、長寿には絶対必要だということはもちろん、フレイル(衰弱)予防についても言及されていて、興味深い。

情報誌「じんせい」令和2年8月号掲載

時 事
エッセー

医療、介護もロボット時代へ



仁生会理事長
細木 秀美

1 992年に53億人だった世界の人口は、2020年には85億人と著しく増えている。反して、日本は、人口激減とともにロボット社会に突入しそうだ。外国から多くの方々が移住して

きてても、日本民族は、今まで、外国人と融合する歴史を持っていない。自動車産業や各種の先端技術では、とっくの昔に工作ロボットが導入されて、人は少なくなってきた。しかし、医療や介護の世界では、まだまだだと考えていた。ところが昨今、介護の世界では人材不足が著しくなり、まず外国からの労働力を利用するようになってきたが、最近、次第に先端技術の進歩により、サイボーグやロボットが作られるようになってきた。いずれ、人間のやっていることの大部分を機械が代わりに働いてくれるようになることだろう。西洋では、昔から貴族や支配者層は、仕

事をしないで、働くことは奴隷の仕事だった。宗教的にも、アダムとイヴが楽園を追放されて以来、労働はしないのがステータスになっている気がする。わが国では、天照大神でも、はたを織ったし、天皇陛下でも田植えをされる文化だ。勤労が尊いものという思考が根深く、労働することが自然である考えが、日本人の底流に横たわっている。

こんな中でも、人が少なくなると、必然的にその代わりに働いてくれる、何者かが必要となる。特に昨今のコロナウイルス蔓延の時代には、私たちが助けてくれるロボットが必要になる。・・・とすると、血の通っていない機械に介護されることになる障がい者や高齢者の皆様に、血の通った介護を提供する人の心が今からは最重要になる。これからの医療人、介護担当者は、今からは自分自身の心を磨くことに力を注がなければならない。仕事は機械がすることになっても、医療や介護を受ける方々に、心の満足をしてもらえるように考えなくてはならなくなるだろう。

情報誌「じんせい」令和2年9月号掲載

時 事
エッセー

今年^{こくせい}は国勢調査100年目



仁生会理事長
細木 秀美

大 正9年(1920年)、^{はらたかし}当時の原敬内閣総理大臣の時から始まった国勢調査が今年で100年目の調査になる。原総理がフランスの国勢調査を見て、これが彼の考

えの基礎になったらしい。太平洋戦争直後に、一度、延期になっただけで、5年ごとにずっと、100年間続いている。敗戦など、大きな国難時にも続いてきた国の方針には、頭の下がる思いである。今までの調査には、5年ごとに、総勢60万人もの人が関わって、個々の家庭を一軒一軒回って、大変な労力であったらしいが、コロナ禍の100年目の今年、人手不足で、IT化まで検討されているらしい。

一体、日本は、この100年間近くで、どのように変化したのか、その統計が載っていたので紹介したい。95年前の大正9年と前回の

平成27年を比べると、人口は約5600万人から1億2700万人に増加し、65歳以上も5.3%から26.6%と著しく増加していて驚く。外国人も8万人弱から175万人に増加し、特に、戦後、急激に外国人の人口が増加している。一次産業は、95年前には55%強であったのが、5年前には4%ほどにまで少なくなっている。平均寿命も2倍近く延びている。95年前と比べると、今の日本は、本当に隔世の感がある。

今から25年後の2045年になると、日本の人口は、今の1億2700万人から約8000万人まで減少する。少子化が進み、このままだと、日本に住む外国人が増加しなければ、日本の労働人口の減少は続き、寝たきり老人であふれかえった国になりそうである。早く、フレイル予防策を考えなければと危惧する。新しいリーダーになられた^{すかよしひで}菅義偉内閣総理大臣には、ぜひ、お考えいただきたい。

情報誌「じんせい」令和2年10月号掲載

時
工ッセー

ベルリンの壁の石



仁生会理事長
細木 秀美

30年以上前の書類が必要になって、家内と、昔の古い書類の入った箱を納戸から引っ張り出して、土日の2日ばかりで探す羽目になった。セピア色に変色した、30年以上前の懐かしい書類を一枚一枚チェックしたが、肝心の書類はとうとう探し当てられなかった。

しかし、懐かしい父母の葬儀の時の挨拶状や、子どもたちの大学合格通知等と一緒に紙束の中に、大学時代の息子が、東西統合したばかりのドイツのベルリンの剣道愛好家からの要請で、剣道の仲間と共にベルリンに行った時に、岡山日独協会誌に息子が書いた見聞録が見つかった。東西ドイツ統合は平成2年3月のことで、ちょうど今年で30年になる。帰国時、息子がお土産に持ち帰ったベルリンの壁の石も一緒に出てきて驚いた。あの時は、

西ドイツと東ドイツの生活程度の差に驚愕したことを覚えているし、東の人々が、歓喜の声を上げて西側に流れ込んできた記憶がある。あれからドイツは一緒になるのに大変な苦勞をして、発展してきた。息子が行った頃の東ドイツの剣士たちは、竹を上手に細工して、自分で作った胴衣を着けて練習していたので、叩くと痛そうで、本気になって打ち込めなかったと、息子に聞いたことも思い出した。そんなにまでして、剣道に邁進する東ドイツを見るに見かねて、剣道の武具をプレゼントして帰国したらしい。スポーツマンシップは大切にしたいし、来年は、コロナが終息しさえすれば、スポーツの祭典、東京で2度目のオリンピック、パラリンピックだ。

今は、物が豊富にあって、お金さえあれば何でも入手することは簡単だろうが、不自由な時代の方が何事にも満足感は大いだろうなあと感じた。

情報誌「じんせい」令和2年11月号掲載

時
工ッセー

細木病院近くの碑文



仁生会理事長
細木 秀美

細木病院のすぐ東に、高知市立城西中学校がある。この場所は、戦前は、高知大学の附属男子小学校で、終戦直後からは男女共学となった。米軍の爆撃の焼夷弾で焼け野原になり、

バラックの校舎が建ったばかりの昭和22年の春、私は小学校に入学した。雨が降ると、教室では、傘をさして授業を受けた思い出がある。元は、土佐藩の致道館という武士の教育場所で、それが高知師範学校となり、先生の卵を育てていたらしい。今の城西中学校の南に大膳町公園があるが、ここも終戦直後までは、高知大学附属小学校の敷地だったし、公園の東の大きな柵の横には、戦争で焼け残っていた講堂があり、入学式などの行事に利用されていた思い出がある。その大膳町公園の南側に、以前の師範学校の建物で、たった一つ焼け残った校門の横に、「高知師範」

と書かれた、大きな石碑が1973年に建立された。これを揮毫したのは、いの町出身の書家、伊藤神谷(いとうしんこく)である。彼は、いの町名誉町民で、大日本書道院展で最高賞に輝いている。書道の素人の私でも、美しく力強い書体だなあと感じる。以前、高知新聞の「書家と碑文」19号に詳細が載っていたが、細木病院の周囲には、明治維新の頃のもの結構、目につく。昔の人の残したものを保存し、後世に伝えていくことは大切である。病院の新館の北側にあるグループホームの前には、幕末に勝海舟の援助で最後の仇討ちをした廣井磐之助の石碑があるし、細木病院東側の駐車場の横には、将軍綱吉の寵愛を受けたが、不遇の最後だった山内大膳亮(豊明)の石碑もある。高知師範学校は、その後、高知大学教育学部となって、戦前の朝倉にあった日本陸軍の第44連隊の兵舎の跡に移転して、今の大学の本部などの大きな組織になっている。職員の皆様も、ぜひ、時間のある時に、細木病院の周囲を散策してほしい。

情報誌「じんせい」令和2年12月号掲載

時
工ッセー

天災は忘れた頃にやってくる



仁生会理事長
細木 秀美

高知の生んだ物理学者であり、随筆家、俳人でもある、有名な寺田虎彦が「天災は忘れた頃にやってくる」と言った言葉は、妙を得ていると、いつも感じている。

今年、傘寿を迎えた私には、人生の間に起こる山や谷も、どうも虎彦が言う、天災に近いのではないかと、一人合点している。

随分前から、南海大地震のような大地震と津波が来ると、高知で大惨事になると、マスコミが大々的にキャンペーンを張り始めて久しい。細木病院の外來棟も築50年を超してきたので、危険を感じ始め、数年前に耐震工事を済ませた。最近、街中の電柱にも、ここは「海拔〇〇m」と書いた標識が張られて、今にも襲ってくるのではないだろうか心配になる。私の土佐高校同期に、京都大学の総長を務め、地震学で有名な尾池和夫がいるが、

彼の予言によると、今度の南海トラフの大地震は、2038年頃が考えられると、土佐高校100周年の「筆山の麓」に書いている。2038年と言うと、彼も私も、ちょうど100歳になる年だが、人生100歳時代が現実味を帯びて来た昨今、ヒョットしたら、遭遇するかなあ。本当は遭遇したくないが、子どもや孫が遭遇するのは、確かだろう。しかし、天災だけは、避けようがない気がする。10年前に東北地方を襲い、甚大な被害を出した大地震と大津波の記憶はショックで、消そうにも消せないし、昨年は、コロナ、コロナで明け暮れ、世界中で1億人近くが感染し、200万人以上が死亡した。東洋よりも欧米諸国での蔓延が激しい気がする。今年は、終焉するのではないかと思うけれど、安穏な世界になったと思ったら、また、「忘れたところに天災がやってくる」のは必定だと思う。やはり、いつもリスク管理を心がけなければ・・・。

情報誌「じんせい」令和3年2月号掲載

時
工ッセー

コロナが土佐のおきやく文化を否定した



仁生会理事長
細木 秀美

新型コロナが猛威を振っている。世界での感染者は1億人を超し、死者は200万人を超した。予防策は、東京都の小池知事が提唱された「3密」が基本である。

マスクと手洗いが基本中の基本で、その余波で、今年は冬の定番のインフルエンザの猛威は見られない。そのうえ、ステイホームで、自粛自粛が押しつけられている。

わが愛する高知県は、夜の街の賑わいが他県より多いのが自他ともに認めるところである。ところが、今は残念ながら閑古鳥が鳴いている。昔から土佐の高知は、高知を代表する皿鉢料理を囲んで、返杯返杯の揚げ句、口角泡を飛ばして、延々と議論する伝統的な土佐人の大好きな宴会・・・「おきやく文化」が、コロナ禍の今は、すべて否定されている。本

当に嫌な世の中になったものだ。

人の生活にはコミュニケーションが一番大切であるのに、できないもどかしさは言いようがない。一緒に食事しても、「黙食」の看板のもと、黙って食べる。食べ終わってからマスクをつけて話をする。なんという不自由な世の中になったことだろう。今まで、賑わいを形容する単語である「芋の子を洗うような」や「立錐の余地のない」などの言葉は、すっかり死語になってしまった。政府の非常事態宣言下で、国民に自粛を呼びかけながらも、国会議員は会食後に2次会にも出かけている。本当は行きたい国民には自粛させて、自分たちだけが出かけるので非難的になる。もう少しの辛抱、もう少しの辛抱が延々と続いて、「いつまで続く、ぬかるみぞ」と言いたくなる気持ちは誰でも持っている。どこかで、パッと憂さを晴らしたい。コロナ収束の暁が怖い気がするなあ。

情報誌「じんせい」令和3年3月号掲載

ナウ・レッツ・ビギン

令和2年4月～令和3年3月

仁生会の幹部による、職員の意識高揚のための啓蒙その他を記したリレーエッセーです。仁生会のホームページなどで毎月掲載しています。

オーディオの楽しみ「音は脳で聞く」

音楽を聴くといえば、今どきはスマホからイヤホンで聞くということもありません。音源がレコードからCD、さらにハイレゾにもなっても、昭和世代の音楽愛好家は大型のスピーカーから大きな音で聴きたいという方も多いと思います。趣味のオーディオの目的は「良い音」で音楽を聴くことです。「良い音」とは「原音をいかに忠実に再生することか、忠実度よりむしろ「聞き心地の良い再生音」なのかは論争が尽きないところですが、

私もオーディオを手頃なシステムで楽しんでいる一人です。雑誌やウェブサイトの記事などを見るのが楽しみで、スピーカーケーブルや電源タップ、壁コンセント等を交換したり、果てにはボタンのようなものを壁やプレーヤーに貼ったり、ケーブルにアルトを巻き付けたり、他人が見ればおかしなことをして、「高音の伸びが良くなった」、「低音の響きが良くなった」、「変わらん？」等と楽しんでおります。



最近「オーディオの科学」というサイトに行き当たりました。開設者は高年齢ですが元大学教授で、専門は材料工学、磁性物理学。オーディオに関する疑問を多方面にわたって科学的に検討されています。「音は脳で聞く」という欄で、F.E.ブルーム著「脳の探検」に依れば、耳に入った音は鼓膜を振動させ、その振動が内耳の蝸牛に伝わり、最終的には蝸牛にある聴覚上皮で音として認識される。ただこの時、音の信号は、色々なハズや中継点に分かれて伝わり、視覚情報や過去の音の記録、言語野、知識野などにある情報と相互作用しながら聴覚上皮で統合され、音のイメージの形成や言語の認識が行われるそうです。

オーディオシステムの良し悪しを議論する場合、普通はその物理的、電気的特性を問題にしますが、本当は、耳に入った音をそのまま聞いているわけではなく、ほかの情報、過去の経験などと照らし合わせるなどの脳内処理を経た後、最終的に音として認識されます。実際、「こんな良い音だった?」「なんか音がこもっている?」など同じ装置で再生しているのに日によってかなり印象が違ふ時があります。

かのジュリアス・シーザーの格言に「人は自分の見たいものしか見えない」というのがあります。目や耳から入る情報の全てが見えて(聞こえる)わけではなく、自分に都合の良い状況、あるいはその人の経験や知識と論理的整合の取れた情報しか見えない(聞かない)という格言です。オーディオに限らず、シーザーの言うように人間の世界には「自分の見たいものしか見えない」ということは日常茶飯事にあるのではないのでしょうか。

(だんだん)



板垣退助と世界遺産

板垣退助といえば「板垣死すとも自由は死せず」というあまりにも有名な言葉をすぐ連想し、自由民権運動を先導した人物ということで、現在の時代感覚でいうと何となく弁舌に長けた口先先行の文民政治家との印象を抱いていました。そういう認識が一変したのはかつて東北に旅した時に会津若松市に立ち寄り、野口英世記念館に次いで鶴ヶ城の博物館を見学した時でした。戊辰戦争における白虎隊に関する説明には、当時の官軍東山道方面軍の総督府参謀が土佐藩板垣退助とあり、会津城攻略のための遊軍経路の中で、城の背後に位置し最も手薄な飯盛山付近の侵入口を目をつけて集中攻撃をかけた街戦に持ち込んで城を攻略したとされています。それが結果的に白虎隊の悲劇につながったわけですから、高知県人は会津ではよく思われていないのではと危惧しましたが、やはり彼の真骨頂は戊辰戦争で見られたような待つの戦術眼に特徴づけられる武士としての面目にあったように思われます。

一昨年修復成った開明門を見に訪れた日光東照宮の近くにも若い頃の洋装の



板垣退助の銅像があり、彼の地でも崇敬的になっていることを知りました。官軍司令官であった彼が、日光東照宮に立ちこもった大鳥圭介(医師でもあった)率いる幕府軍に対して由緒ある社殿を載せて破壊するに忍びないので、山を下りて決戦するよう説得したと伝えられます。幕府軍もこれに応じたために、日光東照宮は戦禍を免れ、彰義隊の戦い(上野戦争)で多くの加蓋を焼失した寛永寺とは対照的に、日本人のみならず海外からの観光客でにぎわう世界遺産となって今日にいたっており、感慨を新たにしました。

(一旅人)

新型コロナ、夏も感染力維持か? 第2波、第3波に警戒

新型コロナウイルスの感染拡大が収まり、緊急事態宣言が全面解除されました。ただ、医療の専門家は、ほとんどの人がウイルスへの免疫を持っていない現状では、今後「第2波」「第3波」が来る可能性が高いとみて警戒しています。

東京など大都市の新規感染者は、減りはしたものの残っています。感染報告ゼロの日が続いて一定先に宣言が解除された地域も、水面下で感染が続いている恐れがあります。

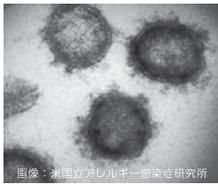
政府諮問委員会のメンバーの1人は、人と人の接触制限が緩めばすぐに拡大に転じる可能性があること分析し、「感染者数が増えるのが6月なのか、7月になるのかは分からない」と語っています。感染が医療機関や介護施設に広がれば、短期間に多くの患者が見つかる医療提供体制がひびく事象につながるでしょう。

新型コロナウイルスには、夏に感染力が弱まり冬に強まる「季節性」があるとの見方も存在します。しかし、米科学誌サイエンス5月号に、ほとんどの人が免疫を持たない状態では、季節による影響はあるとしても弱く、ウイルスは急拡大するとの論文が掲載されました。諮問委員のメンバーは「夏にリスクが下がるとは思っていない」と話しています。

大橋順・東京大准教授も、季節性は強くなさそうだと指摘しています。「夏にいったん収束する可能性もあるが、その場合でも海外からの感染者の入国などをきっかけに、冬に再流行する恐れが大きい」と分析しています。

大橋准教授によると、流行規模を抑える対策を取るそうです。有力なワクチンの開発にも時間を要しそうです。それまでは対策を緩めたり厳しくしたりを繰り返す生活を続ける必要がありそうです。

(makonda)



画像: 米国立アレルギー感染症研究所

素人の、素人による、素人のための仏さま 第二章

久しぶりに仏さまのお話します。今回は4つの階層に分けられる仏像のうち、如来、菩薩に次ぐランクの「明王」と「天」についてです。この2つは「悟り」を開いたかどうかで区別される如来と菩薩の世界とは一線を画しているように思われます。前に説明した仏像最高位の如来が「悟りを開いた人」で、悟るものを教えるような存在のイメージ、次の位の菩薩が「悟りを目指して修行する人」で人々を救済したり悟りに至ることを手助けする存在とイメージするならば(各如来をサポートする2つの菩薩の組み合わせが決まっていることは既に述べました)、明王は仏の教えに従わない者を怒りの表情、姿をして威嚇を打ち付け、悟りに導こうとするイメージ、最下層の天(天は空のことではなく神を意味する)は、仏教世界のガードマン的存在とイメージされます。明王・天ともに古代インドの神様を起源としていて(天は仏教へ再就職した神々との説明もみられる)、いずれにも像と立像があります。

明王は、密教と関わりが深く、その成立過程でインドの神々が取り込まれて誕生したようで、明王の代表として、密教の最高仏である大日如来の化身とされる不動明王(お不動さん)があり、その他に愛染明王、孔雀明王、孔雀明王、大元帥明王などがあります。孔雀明王は、明王の中で唯一如来や菩薩のように美しく優美な顔をしています。

天の神々は、仏教宇宙の須弥山(しゆみせん)という高い山の四方に住み、そこを守護しているとされる四天王(持国天・増長天・広目天・多聞天)や天部の王様として山頂に座す帝釈天や梵天(ぼんてん)の他、阿修羅、山門の両脇でらみをかきかしている仁王(二金剛力士)、鬼子母神、韋駄天(いだてん)、薬師如来を守護する十二神将、七福神に参加している大黒天(日本の大黒天は大国主命の姿)、弁財天(美や芸術、富を授ける)、



国宝 阿修羅像(養正 興福寺)

毘沙門天(次の多聞天の別名、姿が吉祥天)などたくさん仏が含まれます。なお、帝釈天や梵天は釈迦の修行中から付き添っており、奈良時代の如来像には両者が脇侍となっていることが多いとのこと。また、阿修羅は帝釈天に旅を強引に奪われており、帝釈天に何度も戦いを挑むも負け続け、今なお戦っていること、その凄惨な戦いが「修羅場」の名称の由来です。これら仏像の表情には明王のような共感の特徴がなく、多種多様な表情をもっています。天は仏教世界の華なるガードマンにとどまらず、「神様」としての存在に近しい人々から安産や、商売繁盛、衣食住の充足など現世利益を期待されているようです。

これら仏像の中には、仏教がインドから中国を経て日本へ伝来する過程で本来の姿、性格から大きな変化を遂げているものも多々あります。このようにさまざまな仏像の名称、特徴を知ると、その一犬「仏様ワールド」に驚嘆してしまいます。

To be continued (次は仏教の歴史などについて)

(神仏習合)

どちら様ですか？

昭和の話である。医学部卒業後母校に残った。中学、高校、大学の先輩が何人かいて、熱心に誘ってくださったのが大きかった。今と違って国家試験は3月で、合格発表は4月だったと記憶している。新入医局員は12名程だった。指導して下さる先輩医師1名に2~3名の新入医局員が割り当てられ、今ていうところの研修医生活が始まった。問診の仕方、理学所見の取り方など、学生実習でできていたつもりだったが、甘かった。6月頃になると先輩にくっついて入院患者を診るようになった。

ある日、70歳過ぎの老紳士が入院してきた。かかりつけ医から教授への紹介で、特室への入院だった。病名は胃潰瘍。出血しているわけでもなく、貧血があるわけでもなく、元気な様子だった。妻らしき女性がいつもそばにいて、優しく寄り添っていた。血液検査、尿検査、内視鏡検査、胸部レントゲン写真所見などを先輩医師とともに説明する際にも必ず同席して熱心に聞いていた。教授回診の際には上品な服姿で、丁寧に挨拶をしていた。教授も、お辞儀をしていた。時々見舞いが来ていたが、皆さん品のよさそうな方だった。ある日、先輩医師と回診に行くとき、見知らぬ女性が立っていた。老紳士の妻だった。そう、それまで付き添っていた女性は愛人だとわかった瞬間だった。先輩医師と小生はその愛人に老紳士の病状を事細かく説明していたことになった。妻曰く、主人が入院していたことを私は知らなかった。私に連絡が来なかったのはなぜか。夫の病状を他人(愛人)に話してもよいのか等々。妻が教授に面談を求め、病棟医長、先輩と共に教授室へ呼びつけられた。関西出身で温厚な教授は、笑みを浮かべて「これから気を付けや。ええ勉強になったやろ」。教授室を出た病棟医長、先輩と顔を見つめあってほっとした。それ以来、患者さん以外に同席者がいる場合、必ずかける言葉がある。『どちら様ですか？』。



(ウクレレ理)

新しい時代

新型コロナで世界中が閉塞状態になっている。結局、今回の騒動でも、アメリカが1人勝ちしそうな感じである。アメリカの持つ、新しい企業、新しい産業を越えす力のすこみであらう。相変わらず日本は、安全よりも安心を求め、新しい改革の動きは鈍い。

私の以前からの持論を述べれば、本来各界でリーダーシップをとるべき人々が医療界に入ってしまった。新しいパラダイム、新しいシステムを考える人材がほとんどいない。さらに、デフレ状態が長く続き、社会が活性化することを経験していない世代が決定的に増えてしまった。この世代は耐えることが当然と考えており、ある意味では当座の安定感はあるかもしれない。しかし、100年後、もう一度昭和と平成の時間が流れたころ、日本の人口は5千万人となり、国家としての体をなさなくなる。

同盟国がいつまでも同盟国であるということは、決してないというのが歴史の教えである。どこの国とどういう同盟を結んでいるか、ということも多分学校では教えない。教えているとすれば、日本がひどいことをし、その結果として、日本人もひどい目にあった。日本の過去は語りだされてはたすら耐えて生活していくべきである、という教えである。少なくとも、太平洋戦争前、アジアで独立国であったのは日本とタイのみであった、ということが何を意味しているかは教えるべきであらう。

昔の若者は、貧しく、時には食うに困ることもあったから、もっと腹いっぱい食べたい、もっと豊かになりたいと思い、そのイライラや怒念が自分を変え、あるいは社会を変えようとする力になっていたと思う。それは、破壊的であっても、日本という国の周辺がほとんど平穏であったから、何の破壊もなく、希望がかなえられ、高度成長を現出した。

翻って、個人がそれぞれの希望を持ち、それぞれの行動を行っているという意味では、今の若者がより多彩ではある。しかし、今は日本という国の外側は、あれ狂う怒涛が断崖になっていることが決定的に異なる。



(アナクロ)

神無月に思うこと

暦の上で10月は「神無月」です。古典の語義では、「神無月」=「神の月」という意味だそうです。ご存じのように、全国の八百万(やおよろず)の神々が、年に1回この時期に「神詣(かむはかり)」なるものを催すため出雲に集合します。他の地域では神様が留守になるので「神無月」、出雲では神様がいらっしゃるから「神在月」というのは民間俗説のことです。



例年、出雲大社では、神様を「お迎え」して、「神詣を神佐」し、「お見送り」をするという「神迎祭」「神在祭」「神等去出(からさで)祭」の行事が行われます。今年の予定を調べると「11月24日~12月1日」となっています。11月?霜月?「神無月」「神在月」関係ないじゃん。どうなったの?その訳は、出雲大社の古式ゆかしき行事はすべて旧暦で行われるからです。毎年旧暦の10月10日~17日に行われます。新暦でいうと11月になるのです。

どうしてこんなにも月日がズレたのでしょうか?その理由は、旧暦(太陰太陽暦)から新暦(グレゴリオ暦)への改暦に失敗したからです。明治5年12月2日が旧暦最後の日で、新暦では翌日を明治5年12月3日とすべきたころを明治6年1月1日としてしまった。その結果、新暦では約1か月分前倒しとなりズレが生じたのです。さらに、旧暦明治5年12月3日「師走」を新暦明治6年1月1日「睦月」としたため、和風月名までもが1か月ズレることになったのです。とても迷惑な話です。和風月名は、古来より四季・花鳥風月を愛する日本人の心をよく表しているのに、それがズレるといっては残念ですね。令和の我々は、江戸時代の人とは異なる四季を感じているのかもしれない。

ところで、八百万の神々はとても高貴な存在ですから、出雲訪問の仕方にも厳格な「しきたり」があるようです。神様たちは、出雲大社の西方1kmの「稲佐の浜」で神官たちに迎えられて、夜中に海から上陸し、徒歩で出雲大社「神楽殿」に集合します。その場で神官たちの奉仕を受けた後に「本殿」の東西に配置された「十九社」という信舎に入ります。そこに7日間環泊まりをします。一方、「神詣」は出雲大社西方950mに位置する出雲大社の摂社「上宮(かみのみや)」という小さな社で行います。議題は「人には予知できない人生諸般の諸事(縁結びや来年の収穫など)について」神詣することです。神様も人間臭い話をするところがあるのだと思うとちょっとおかしくて親近感が持てますね。

私は出雲大社へ4回回訪したことがあり、訪問のたびに新しい発見をしております。皆さんもぜひ、古事記の故郷・出雲に行ってみませんか?きっと古代が甞る良き体験ができると思いますよ。ちなみに、「神在祭」の期間に訪問すると「神在餅(じんざいもち)」即ち発音が跳って、今ていう「ぜんざい」が振る舞われるそうですよ。

(古今)

マイ将棋ブーム

3月以降はコロナ自粛で、休日も自宅で過ごすことがほとんどであった。鬱々とした生活が続く中で楽しみをもちたのは、藤井聡太棋士の活躍だった。自分は元々将棋ファンではない。小学生時にルールを覚えたが、せいぜい暇なときに友達と将棋を指す程度であった。その程度の素人であるが、高校生棋士の物凄い快進撃に驚き、痛快であった。藤井聡太がちょっとだけ息子に似ていることもあったかもしれない(笑)。



ネットTVの将棋チャンネルで棋戦をみたが、AIの形勢評価が取り入れられている。次の予想手がら、6手ほど示される。どの手を指すかによって形勢評価がどれだけ下がるかも併記されている。最善手以外を選べたら90対10が10対90に一手で逆転されることがある。どう指すのか一手一手に緊張感を味わえ、綱渡りのように最善手を連続して指し続けるプロ棋士の凄さを思い知った。

将棋関連のネット記事も読んだ。その棋戦の評価、AIを超えといわれる驚きの一手の解説、さらには棋士のひととに迫るものなどであった。

将棋の雑学におもしろいものがあつた。将棋に詳しい方ならご存じかもしれない。最高級の将棋盤の自盛りは、太刀盛りと言って、日本刀を使って自盛りを作るそうである。刃を丸めた日本刀の刃に漆を付けて斬るようにして漆を盛り付けていく。高度な熟練した技術が必要とされる。

高級将棋盤は脚がついている美しい形をしているが、これは梶子(クチナシ)の実をかたどって彫られている。対局中は他言無用、口を出さずなどの戒めを「口無し」に掛けられた。



脚付き将棋盤をひっくり返して裏側を見ると中央部にへこみがある。これは駒を盤に打ち付けたときに音が良くなるようにするために、「音受け」と呼ばれる。別名「血溜まり」とも言い、対局中に口出した第三者の首をはねて、盤を逆さにして首をそこにさらしたという逸話に由来しているという。

インターネットで容易に情報が目に入ってくる。にわか将棋ファンのでき上がりである。



(観る得)

ヘルスリテラシー

師走の恒例行事「今年の漢字」、今年はぜひとも「冠（コロナ）」を推したい。昨年 12 月、中国で発生した新型コロナウイルスの流行は、瞬く間に拡大してパンデミック(世界的大流行)となり、多くの国々で健康、社会、経済に甚大な影響を及ぼしています。感染が拡大し始めた当初は、この新興感染症がどういふものかわからず、日本でも大変な不安と混乱に陥りました。マスコミは連日取り上げ報道が過熱、ネットやソーシャルメディア（SNS）では、科学的根拠のない予防法や偽情報を含むさまざまな情報が飛び交いました。8 月、「うがい薬でうがいをすれば感染を防げる」報道に日本医師会はヘルスリテラシーの重要性を指摘、「国民の皆さんは、世に出された情報に飛びつくのではなく、一度立ち止まって冷静に情報を吟味してから次の行動に移って欲しい」と報道関係者と国民に冷静な対応を呼びかけました。

この「ヘルスリテラシー」という言葉、わが国が長寿時代を迎えて健康への関心が高まる中、2015 年に厚生労働省が発表した「保健医療 2035」に初めて登場しました。その意味するところは、日本医師会のお叱りのとおり。正しい健康情報を選び取り、意志決定をして、自らの健康を維持、向上させる能力をいいます。コロナ禍の今、自らを守るために必要な健康力ともいえます。

12 月、日本列島はコロナ第 3 波の猛威に見舞われ、高知でも患者が急増しています。新聞やテレビは医療提供体制の危機を伝え、国民一人ひとりの日々の情報に注視し、節度ある行動をとるよう訴えています。やっと、英国で新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が始まりましたが、私たちが恩恵を受けるのはもう少し先の話。今できる唯一の感染抑制策は、以前から言われている「マスク着用」や「3 密対策」などを取り入れた「新しい生活様式」の徹底であることに変わりはありません。それにしても、新型コロナの治療の一つ明かりが点ったことは本当に嬉しい限りです。

来年は丑年、もーもーもーといいやが来ますように、心よりお祈り申し上げます。

(12 月 10 日現在の新型コロナウイルス感染者数
世界 6,935 万人、日本 17 万 2,337 人、高知県 301 人)



(豆助)

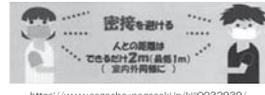
コロナ禍の日常

令和 3 年 1 月 7 日、首都圏の 1 都 3 県に 2 度目の緊急事態宣言が発令されました。新型コロナウイルス感染症患者の増加に伴い、中等症、重症の患者の治療を担う医療従事者への負担、そして病床数の逼迫が大きな要因です。昨年 4 月の 1 度目の全都道府県への緊急事態宣言で、患者数が減少している時に、医療従事者および病床の確保対策を、国、県、医療従事者それぞれの立場でもう少し突っ込んだ話し合いをして具体策をとっていただければ、医療崩壊の危機が起るような状況は阻止できていたかもしれません。

高知県も改めて医療崩壊の危機については、諸先生方がいろいろ対策を述べられているので、ここでは新型コロナウイルス感染症について現在までにわかっている基本的なことをおさらいします。発症から 1 週間程度は発熱や咳などの風邪症状が続く、そのまま治っていく患者が全体の 80%程度とされます。味覚、嗅覚障害を伴っている場合もあります。20%の人は呼吸困難や咳などで、肺炎症状が悪化し、中等症、重症患者として入院対象になります。高齢者や糖尿病、高血圧、慢性腎臓病などの基礎疾患のある人、肥満の人、喫煙歴のある人、悪性腫瘍のある人、妊婦などが重症化しやすいといわれています。このため、感染しても 80%の人が無症状か、もしくは風邪症状で治ってしまうため、「新型コロナウイルス感染症は季節性のインフルエンザよりもひどいことない」という人もいます。しかし、基礎疾患のない若者でも急速に悪化することがあります。潜伏期間が長く、発症の 2 日前から感染源になる可能性があり、発症してウイルスを排出していても無症状のことが多いなど、インフルエンザ以上に厄介です。

新型コロナウイルス感染症の合併症で、致死率との関連性が高いものに、肺塞栓症や脳梗塞などの血栓塞栓症があります。重症例において、特に血栓塞栓症との併発が多くみられます。治ったと思っても、後遺症によってその後の生活に支障を来すことがあります。重症者だけではなく、若い世代でも、倦怠感や呼吸苦の症状のほか、関節痛、味覚・嗅覚障害、めまい、聴覚障害、なかには脱毛などの報告もあります。

インフルエンザでのタミフルやイナビルのように、感染があったらすぐ投与すれば治るような特效薬はありません。今のところ飛沫感染や接触感染の予防には、手洗い、手指消毒を徹底し、マスク着用が有効です。ワクチンができ、治療薬が開発するまでは、3 密を避け、会食を控え、個人個人が自分の行動を律するという「新しい生活様式」を継続するしかなさそうです。



<https://www.sazacho-nagasakikip/kij0032939/>

(めだかの里)

信じる?・信じない?

紅葉の時期、京都の東福寺を訪ねたことがあります。臨濟宗東福寺派大本山の東福寺は、鎌倉時代の建長 7 年(1255 年)に完成し、禅寺の日本最古である「三門」、日本最大の「禅堂」、そして東福寺三名橋「偃月橋」「臥雲橋」「通天橋」など、国宝や重要文化財に指定されています。「東福寺の七不思議」も興味深く、紅葉以外でも見どころ多きお寺です。

その日は、運よく住職さんから直接お話を聞くことができました。皆さんは知っていましたか? 「干支の 1 年の始まりは 1 月 1 日ではないこと」「お寺には干支があり、自分の干支が祭られているお寺を先にお参りしないとご利益がないこと」「お参りの際に頼みごとをする時は、必ず自分の住所氏名を名乗ってからすること(仏様にはどの誰かわからないからどうぞ?)」「暦注の六曜は、何の根拠もないこと」、私は全くの無知でした。私はどちらかという、仏神を信じるタイプではなかったのですが、歳でしようか? 最近気になりました。特に自分が死んだらどうなるのだろうか? 時々考えるようになりました。真実は誰も知らない世界だから、ここは仏教に教わるしかないですね。

では、仏教でいうあの世(死後)とはどんな世界でしょうか? 生ある者は必ず死に帰すといわれるように、死は 100% 確実な未来です。死んだら「冥土の旅」ともいわれる「死後の旅」へ出発して、約 800 里の遠い道のりを独り寂しく歩いて、やがて見えてくる三途の川を渡らなければなりません。生前の罪の重さで、橋を渡れる人、そして歩いて渡らなければならない人に分かれ、渡し賃の六文(今は 600 円?)を払うと船に乗せてもらえるかもしれないけど、お金を持って死ぬ人は珍しいから、ほとんどは歩いて渡ることを覚悟しないといけない。私は、お棺に 600 円(いや、値上がりするかもしれないので、1,000 円位か)入れてもらうよう、今から子どもに伝えておきたい。

あの世は、浄土と地獄があり、生前に 1 匹でも生き物を殺したことがあると地獄行きになります。それを審判するのが閻魔大王法廷、そこにある浄瑠璃の鏡で生前の行いが全部映し出されて、殺生罪となり地獄行きになります。また、親の大恩は山より高く海より深いといわれ、親よりも先に死んだ子は、大恩ある親を悲しめたということで、地獄の奈落に落とされるのです。今からどう頑張っても極楽浄土には行きそうにもありません。「ああ、健康で長生きしたい!」「あなたは信じる?・信じない?」

(benefaction)



故郷、高知の未来

昭和 30 年代に誕生した赤ちゃんは、全国で年間約 270 万人以上もいたのに、一昨年は、わずか 86 万人に激減している。わが愛する高知県の人口も、昨年、69 万人台にまで落ち込んだ。最大時は 84 万人程の人口を誇った昔もあったのに・・・、今の県都の高知市は、それでも人口 30 万人を保っている。高知市の隣の南国市、いの町、土佐市を合わせると約 39 万人、県人口の約 60%の県民が高知市周辺で生活している。しかし、一昨年、高知県内で生まれた赤ちゃんは 5 千人未満であり、70 年ほど前と比べると 5 分の 1 以下である。反対に、年間死亡数と転出転入者を差し引くと、毎年 8 千人程の人口自然減少が続いている。平均寿命は、40 歳代、50 歳代の死亡率が全国平均よりも高いのが問題だった。70 歳代、80 歳代、90 歳代とだんだん寿命が延びて、100 歳以上は全国 2 位である。

厚生労働省、経済産業省、総務省の統計データをまとめて一冊の本にした、河合雅司の「未来の地図帳」によると、2045 年、今から 25 年後には、高知県民はわずか 49 万人台まで減少して、全国最少の県になる。しかし、高知市周辺の人口は減少しない。高知市と周辺に 39 万人、残りの広大な高知県内にわずか 10 万人余りが生活する事態となる。人口が少ないと、公共施設が減少し、暮らしにくくなるといわれている。全国的にも、大都市や各県の県庁所在地周辺に人口が集まるようになり、都市への一極集中が顕著になるようだ。

今、高知市のマンションの新築は売れだそう。地方に住む高齢者が、いざというときに移り住むためらしい。子どもたちは、故郷、高知へ帰りたいがらないし、一人暮らしになったときにコンビニやスーパー、病院、市役所や県庁に近い、今後の生活に便利な場所で、老後を過ごしたいと考えられているようだ。25 年後の高知で生活される皆さんには、ぜひともよくお考えになっていただきたい。

(アラジンのランプ)



細木病院 2020年度(令和2年度)の目標と取り組み

「再就職の効果を高めるための研修再開」

新・細木病院に於いては、日本経済、医療と福祉との関係、医療体制の変遷、高齢化の進展、人口減少の進行、4月1日より新・細木病院の二次創成、さらには、再建に向けて人材の集約と再建に向けた取り組みが求められています。



院長 深田 順一

「次なる挑戦再開」

新・細木病院に於いては、日本経済、医療と福祉との関係、医療体制の変遷、高齢化の進展、人口減少の進行、4月1日より新・細木病院の二次創成、さらには、再建に向けて人材の集約と再建に向けた取り組みが求められています。

「再就職の効果を高めるための研修再開」

新・細木病院に於いては、日本経済、医療と福祉との関係、医療体制の変遷、高齢化の進展、人口減少の進行、4月1日より新・細木病院の二次創成、さらには、再建に向けて人材の集約と再建に向けた取り組みが求められています。

「再就職の効果を高めるための研修再開」

新・細木病院に於いては、日本経済、医療と福祉との関係、医療体制の変遷、高齢化の進展、人口減少の進行、4月1日より新・細木病院の二次創成、さらには、再建に向けて人材の集約と再建に向けた取り組みが求められています。

「再就職の効果を高めるための研修再開」

新・細木病院に於いては、日本経済、医療と福祉との関係、医療体制の変遷、高齢化の進展、人口減少の進行、4月1日より新・細木病院の二次創成、さらには、再建に向けて人材の集約と再建に向けた取り組みが求められています。

① 細木病院グループでは、現在、看護助手と介護職等を募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。
 ② 仁生会(採用情報)のホームページ <https://www.jinseikai.kochi.jp/saiyo.html>

三愛病院 『介護医療院さんあい』オープン!

三愛病院院長・介護医療院さんあい院長 中村寿宏



「介護医療院さんあい」は、4階の介護医療院棟新築棟4階全体を全面活用し、4月1日より介護医療院さんあい(介護医療院)としてオープンしました。介護医療院さんあいには、介護医療院さんあいの新しい設備のため、開業には、多岐にわたる取り組みが求められています。

「介護医療院さんあい」は、4階の介護医療院棟新築棟4階全体を全面活用し、4月1日より介護医療院さんあい(介護医療院)としてオープンしました。介護医療院さんあいには、介護医療院さんあいの新しい設備のため、開業には、多岐にわたる取り組みが求められています。

「介護医療院さんあい」は、4階の介護医療院棟新築棟4階全体を全面活用し、4月1日より介護医療院さんあい(介護医療院)としてオープンしました。介護医療院さんあいには、介護医療院さんあいの新しい設備のため、開業には、多岐にわたる取り組みが求められています。

「介護医療院さんあい」は、4階の介護医療院棟新築棟4階全体を全面活用し、4月1日より介護医療院さんあい(介護医療院)としてオープンしました。介護医療院さんあいには、介護医療院さんあいの新しい設備のため、開業には、多岐にわたる取り組みが求められています。

「介護医療院さんあい」は、4階の介護医療院棟新築棟4階全体を全面活用し、4月1日より介護医療院さんあい(介護医療院)としてオープンしました。介護医療院さんあいには、介護医療院さんあいの新しい設備のため、開業には、多岐にわたる取り組みが求められています。

「介護医療院さんあい」は、4階の介護医療院棟新築棟4階全体を全面活用し、4月1日より介護医療院さんあい(介護医療院)としてオープンしました。介護医療院さんあいには、介護医療院さんあいの新しい設備のため、開業には、多岐にわたる取り組みが求められています。

「介護医療院さんあい」は、4階の介護医療院棟新築棟4階全体を全面活用し、4月1日より介護医療院さんあい(介護医療院)としてオープンしました。介護医療院さんあいには、介護医療院さんあいの新しい設備のため、開業には、多岐にわたる取り組みが求められています。

「介護医療院さんあい」は、4階の介護医療院棟新築棟4階全体を全面活用し、4月1日より介護医療院さんあい(介護医療院)としてオープンしました。介護医療院さんあいには、介護医療院さんあいの新しい設備のため、開業には、多岐にわたる取り組みが求められています。

① 細木病院グループでは、現在、看護助手と介護職等を募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。
 ② 仁生会(採用情報)のホームページ <https://www.jinseikai.kochi.jp/saiyo.html>

細木病院 『ほそぎハートセンター』オープン!!

副院長・ハートセンター長 細木信吾



「心不全とは?」

心不全とは、心臓のポンプ機能が低下し、血液を全身に送り出すことが難しくなる状態です。心不全の原因は、高血圧、糖尿病、動脈硬化、心筋梗塞、弁膜症、先天性心疾患などです。心不全の症状は、息苦しさ、むくみ、疲労感、夜間頻尿などです。心不全の治療には、薬物療法、手術療法、生活習慣の改善などがあります。

「心不全の診断は?」

心不全の診断には、胸部X線検査、心エコー検査、血液検査、運動負荷試験などが行われます。心不全の診断は、医師の診察と検査結果に基づいて行われます。

「心不全の治療法は?」

心不全の治療には、薬物療法、手術療法、生活習慣の改善などがあります。薬物療法には、利尿剤、ACE阻害薬、β遮断薬、利尿剤などがあります。手術療法には、心臓移植、人工心臓などがあります。生活習慣の改善には、禁煙、節酒、塩分・水分の制限などがあります。

「心不全の予防は?」

心不全の予防には、高血圧、糖尿病、動脈硬化、心筋梗塞、弁膜症、先天性心疾患などを早期に発見し、適切な治療を受けることが重要です。また、禁煙、節酒、塩分・水分の制限、適度な運動なども心不全の予防に効果的です。

「心不全の予防は?」

心不全の予防には、高血圧、糖尿病、動脈硬化、心筋梗塞、弁膜症、先天性心疾患などを早期に発見し、適切な治療を受けることが重要です。また、禁煙、節酒、塩分・水分の制限、適度な運動なども心不全の予防に効果的です。

① 細木病院グループでは、現在、看護助手と介護職等を募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。
 ② 仁生会(採用情報)のホームページ <https://www.jinseikai.kochi.jp/saiyo.html>

細木病院 心不全ってどんな病気?

ほそぎハートセンター 循環器内科長 宮地 剛



「心不全とは?」

心不全とは、心臓のポンプ機能が低下し、血液を全身に送り出すことが難しくなる状態です。心不全の原因は、高血圧、糖尿病、動脈硬化、心筋梗塞、弁膜症、先天性心疾患などです。心不全の症状は、息苦しさ、むくみ、疲労感、夜間頻尿などです。心不全の治療には、薬物療法、手術療法、生活習慣の改善などがあります。

「心不全の診断は?」

心不全の診断には、胸部X線検査、心エコー検査、血液検査、運動負荷試験などが行われます。心不全の診断は、医師の診察と検査結果に基づいて行われます。

「心不全の治療法は?」

心不全の治療には、薬物療法、手術療法、生活習慣の改善などがあります。薬物療法には、利尿剤、ACE阻害薬、β遮断薬、利尿剤などがあります。手術療法には、心臓移植、人工心臓などがあります。生活習慣の改善には、禁煙、節酒、塩分・水分の制限などがあります。

「心不全の予防は?」

心不全の予防には、高血圧、糖尿病、動脈硬化、心筋梗塞、弁膜症、先天性心疾患などを早期に発見し、適切な治療を受けることが重要です。また、禁煙、節酒、塩分・水分の制限、適度な運動なども心不全の予防に効果的です。

「心不全の予防は?」

心不全の予防には、高血圧、糖尿病、動脈硬化、心筋梗塞、弁膜症、先天性心疾患などを早期に発見し、適切な治療を受けることが重要です。また、禁煙、節酒、塩分・水分の制限、適度な運動なども心不全の予防に効果的です。

① 細木病院グループでは、現在、看護助手と介護職等を募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。
 ② 仁生会(採用情報)のホームページ <https://www.jinseikai.kochi.jp/saiyo.html>

細木病院

ほそぎハートセンター 心エコー室です♡

循環器内科長
古川 敦子



3D心エコー機 (Philips社製EPIQ CV6) を用いた、医師と臨床検査技師による検査の様子

心エコーとは、心臓の構造や動きを超音波で検査することです。心臓は常に動いている臓器であり、その動きを正確に把握することは、心臓病の診断や治療に非常に重要です。当院では、最新の3D心エコー機を導入し、医師と臨床検査技師が協力して、患者様の心臓の状態を詳しく検査しています。

心エコー検査は、非侵襲的で痛みもほとんどありません。検査時間は約15分から30分程度です。検査結果は、医師が詳しく説明いたします。また、検査結果に基づいて、適切な治療法を提案いたします。



左から、心エコー室担当の医師、看護師(2名)、臨床検査技師(3名)

① 細木病院グループでは、現在、看護助手と介護職等を募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

ホスピタルローソン オープン! 仁生会細木病院店・サテライト仁生会三愛病院店



8月26日、細木病院三愛病院新館地下1階に「ローソン」がオープンしました。また、三愛病院店もリニューアルオープンしました。ローソンは、医薬品だけでなく、生活必需品や食品も取り扱っており、患者様の生活をサポートするためのサービスを提供しています。

<ローソン仁生会細木病院店>

- ・場所：細木病院新館地下1階
- ・営業時間：月～金曜日 午前7時～午後9時
土・日・祝日 午前9時～午後6時
※年末年始(12/31～1/3)はお休み
- ・(三愛病院店の営業時間)
月曜日～金曜日 午前8時～午後8時
土曜日 午前8時～午後6時
日曜日、祝日、年末年始(12/31～1/3)はお休み
- ・おむつや口腔ケア用品、入院生活に必要な身の回り品、ナースシューズやカーディガンなど、病院における必要品等も販売しています。
- ・える厨房、イトイン、MACHI cafe、ATM、Loppi、コピー機、TSUTAYAの送付Boxをご利用いただけます。(日祝祭日等一部店舗を除く)
- ・公共料金、自動車税、固定資産税などのお支払いができます。
- ・酒類とタバコは販売しません。



① 細木病院グループでは、現在、看護助手と介護職等を募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

仁生会(採用情報)のホームページ
<https://www.jinsekai.kochi.jp/saiyo.html>

細木病院

整形外科で注目のPRP療法開始!! 膝関節症やスポーツ関連疾患に 患者さん自身の体をもつ修復力を活かした新治療



③ PRPの抽出

PRP療法とは、患者さん自身の血液から成長因子を抽出し、患部に注入することで、組織の修復を促進させる治療法です。膝関節症やスポーツ関連疾患に効果的です。

PRP療法は、手術をせずに済むため、回復が早く、痛みも少ないです。また、患者さん自身の体をもつ修復力を活かすことができるため、効果が持続します。

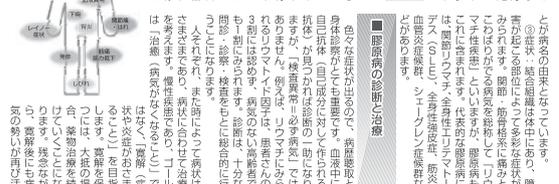
PRP療法は、膝関節症やスポーツ関連疾患に効果的です。また、患者さん自身の体をもつ修復力を活かすことができるため、効果が持続します。

① 細木病院グループでは、現在、看護助手と介護職等を募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

膠原病って、どんな病気? 複数の症状が同時にいたらご用心!



膠原病とは、免疫系の異常によって起こる病気です。関節炎、皮膚病、臓器障害など、さまざまな症状が同時に現れることがあります。



膠原病の診断には、血液検査や画像検査などが行われます。また、治療には免疫抑制剤が用いられます。

① 細木病院グループでは、現在、看護助手と介護職等を募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

仁生会(採用情報)のホームページ
<https://www.jinsekai.kochi.jp/saiyo.html>

細木病院

ほそぎハートセンター 心臓リハビリテーション ～健康寿命を延ばしましょう！～

心臓リハビリテーション科部長 西本美香

心臓リハビリテーション(心臓リハ)は、心臓病の回復や再発を予防し、健康寿命を延ばすための取り組みです。心臓病は、生活習慣病の代表格で、日本人の死因の1位です。心臓リハは、心臓病の回復や再発を予防し、健康寿命を延ばすための取り組みです。心臓病は、生活習慣病の代表格で、日本人の死因の1位です。

心臓リハの目的は、心臓病の回復や再発を予防し、健康寿命を延ばすことです。心臓リハは、心臓病の回復や再発を予防し、健康寿命を延ばすための取り組みです。心臓病は、生活習慣病の代表格で、日本人の死因の1位です。

心臓リハの具体的な取り組みは、運動療法、薬物療法、栄養指導などです。心臓リハは、心臓病の回復や再発を予防し、健康寿命を延ばすための取り組みです。心臓病は、生活習慣病の代表格で、日本人の死因の1位です。

細木病院グループでは、現在、看護助手と介護職等を募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

仁生会(採用情報)のホームページ
<https://www.jinseikai.kochi.jp/saiyo.html>

細木病院

慶賀光春 年頭所感 2021



冠雪の大雪山(撮影:細木病院整形外科 北岡和盛 名誉院長)



社会医療法人
仁生会 理事長
細木 秀美

明けましておめでとうございませう。2021年は、新型コロナウイルス感染症の流行による影響が大きい年です。しかし、新しい年を迎え、希望を持って前進したいと思います。

今年も、患者様の健康と安全を最優先に考え、医療の質を向上させたいと思います。また、スタッフの成長と働きやすさの向上も目指します。

細木病院グループでは、現在、看護助手と介護職等を募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

仁生会(採用情報)のホームページ
<https://www.jinseikai.kochi.jp/saiyo.html>

細木病院

自分で脈を測る習慣を！ ほそぎハートセンター・循環器内科部長 山本哲史

脈を測ることは、健康状態を確認する簡単な方法です。毎朝、起床後、静かに座り、手首の脈を測る習慣を身につけましょう。

脈を測る際のポイントとして、静かに座り、手首の脈を測ります。また、脈を測る時間は、起床後、静かに座り、手首の脈を測ります。

脈を測ることで、血圧や心拍数の変化を把握できます。異常があれば、医師に相談してください。

細木病院グループでは、現在、看護助手と介護職等を募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

仁生会(採用情報)のホームページ
<https://www.jinseikai.kochi.jp/saiyo.html>

細木病院

ドクターカー・ナースカー 運用開始！

ドクターカーとナースカーの運用を開始しました。緊急時や患者様の移動に大変便利です。

ドクターカーは、救急隊や医師の移動に、ナースカーは、患者様の移動にそれぞれ活用されています。

これらの車両の導入により、患者様の安全と快適な移動を実現しています。

細木病院グループでは、現在、看護助手と介護職等を募集しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

仁生会(採用情報)のホームページ
<https://www.jinseikai.kochi.jp/saiyo.html>

新聞・テレビ広告等

令和2年4月～令和3年3月

A. 新聞広告

(1) 協賛広告

高知新聞『お誕生おめでとう』

<細木病院・三愛病院・日高クリニック 小児科>



細木病院
グループ
小児科

細木病院
822-7211

三愛病院
845-5291

日高クリニック
0889-24-7785

高知新聞

令和2年6月～令和3年3月
(令和2年4・5月は中止)
毎月最終金曜日掲載

(2) 行事等告知

細木病院『ほそぎハートセンター開設』(令和2年6月8日開設)



社会医療法人 仁生会 細木病院

ほそぎハート循環器 本日オープン!!

ごあいさつ
細木病院では、このたび、岡山大学病院循環器内科、宇津野教授のご支援により、最も最新のほそぎハートセンターが完成しましたので、高知県の、特に若年層の心臓病を拡大する事には、少しでも対応に立つことができるのではないかと考えております。最良は、富山中央病院の院長岡田先生(富山の宇津野先生の主治医)の先生指導を仰ぎ、高知医療センターの循環器科センター長を経て、細木病院へ移ってまいりました。専攻は心臓病ですが、細木病院の循環器科の最新の設備を、保持して従事することができれば、これに誇りを感じます。尚、病室の充実、設備の充実、よりよくお願い申し上げます。

社会医療法人 仁生会 理事長 細木 秀美

ごあいさつ
このたび、細木病院では、院内にほそぎハート循環器を立ち上げました。心臓カテーテル室・心臓リハビリ機能を併せた施設として、心臓病、特に冠動脈性心臓病の患者を治療する事に対し、学際的治療を旨といたし、学際的治療を旨といたし、多方向からの総合的な治療を提供できることを目指します。

細木病院グループは、これまでスーパーアミックスの医師陣として、最も、知能医療の推進を推進してまいりましたが、グループのもう一つの特色として、遠隔から、遠隔診、遠隔検査、遠隔検査といった代表的な遠隔医療に対する取り組みを推進し、患者様へより良い総合的な治療を提供してまいりました。これまでの実績の上、新施設を開設し、協力を仰ぎ、地域に貢献したいと考えております。ご期待ください。

細木病院 院長 深田 潤一

ごあいさつ
2020年6月、「心臓のトータルケア」をコンセプトとして、心臓病の予防・治療、予防を目的としたほそぎハート循環器がオープンしました。

これまで20年診、学び蓄積した心臓カテーテル検査と治療の知識と、代から続く50年近く歴史のある循環器科、加齢の増進の対応に注力してまいりました。

チームワークとネットワークを誇るほそぎ循環器科の医師と、看護師、理学療法士、臨床工学技士等からなるハートチームで患者のケアを行います。心臓病の中でも長く地域に貢献すべく心臓病を取り組んでおります。皆様のご協力、ご利用、ご指導を賜りますよう、心からお願いいたします。

細木病院 院長 細木 信吾

施設概要

(1階) 心エコー/心臓リハビリテーション
 検査・科目 3D心エコー検査で心臓の状態を正確に測定できます。
 患者さんに対して、医師、看護師、理学療法士等チームによる運動療法、学習活動、生活指導、カンパリングを通じて、快適な生活を送る、社会的復帰、心臓病の再発予防をサポートします。
 主な設備 心臓運動負荷試験(CPX)、自転車エルゴメーター、セントラルモニター心電図、スリムエクスサイズセラピーボール、診察室

(2階) 心臓カテーテル検査
 検査・科目 心臓カテーテル室、ICU、カフパルスルーム等を備えています。
 第一線の医師で24時間から診察できる設備を備えています。
 主な設備 第2力室循環器診察室(24時間からの即時診察が可能)診察室、検査室(可能な1台)、検査室(可能な1台)、検査室(可能な1台)、検査室(可能な1台)

社会医療法人 仁生会 〒780-8535 高知市大塚町37
 TEL.088-622-7211 FAX.089-825-0909
 細木病院
 実診ご希望の方は予約電話088-673-3806までご連絡ください。
 [E-mail] info@hosogihospital.jp [URL] https://hosogihospital.jp/

高知新聞

令和2年6月8日掲載

B. テレビCM

細木病院グループCM



ナレーションA

「細木病院グループは、急性期から回復期、こころのケアや緩和ケア、心臓病治療やリハビリテーション、在宅介護など、幅広い分野で診療しています。細木病院グループ」

ナレーションB

「細木病院グループは、子どもから高齢者まで、急性期医療から在宅介護まで、この病院でよかったと思ってもらえるよう、日夜、地域の皆様に寄り添います。細木病院グループ」

土佐中高創立100周年記念番組

令和2年11月7日放映

C. 屋外広告

とさでん交通電停ネーミングライツ（平成30年6月～令和3年5月）



上町二丁目電停
大型行灯



上町二丁目電停
案内板

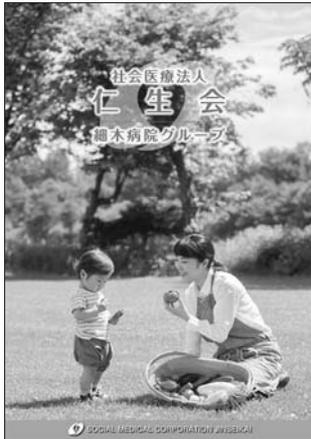
車内アナウンス

「次は上町二丁目 細木病院 前」

D. パンフレット

(1) 仁生会細木病院グループ

① 仁生会細木病院グループパンフレット



② 仁生会細木病院グループドクター紹介



(2) 細木病院

① 細木病院パンフレット



② 細木病院入院案内



③ 細木病院ほそぎハートセンターパンフレット



④ 細木病院ほそぎハートセンター心臓リハビリテーションパンフレット



仁生会年報2020 令和2年度 第22号 2020年度
(2020. 4. 1~2021. 3. 31)

発行 2021年12月
発行所 社会医療法人 仁生会
〒780-0928 高知市越前町1-10-17 (本部)

発行責任者 細 木 秀 美

編集委員 細木 秀美・金子 忠司・安藤 徹・細川 卓利
山崎 美幸・植喜多 美穂・池上 智仁・川江 忍
田村 幸大・村木 薫・澤田 恵里・澤村 美代子
鳴瀧 菜々・黒岩 千佳子・木下 浩一・西田 江見

相談役 深田 順一・中村 寿宏

印刷 株式会社 高知新聞総合印刷

編集後記

2021年12月1日現在



細木 秀美
(仁生会本部 理事長)

自粛自粛の1年間でした。出来上がった年報を手取るのが楽しみです。御苦勞様でした。



深田 順一
(相談役 細木病院 院長)

医療とは疾病との闘いと思ってきましたが、本年度ほど医療は社会の一角だと思知らされたことはありませんでした。



中村 寿宏
(相談役 三愛病院 院長)

原稿を書きながら改めて振り返ってみても、新型コロナウイルスの対応に追われた1年でした。



金子 忠司
(仁生会本部 人事部 部長)

実務多忙の中、執筆者と委員のみなさまのご努力とご協力に感謝いたします。



安藤 徹
(細木病院 診療部
化学療法・緩和ケア科部長)

皆様のご助力ありきで今年も最後までたどり着けました。ありがとうございました。



細川 卓利
(細木病院 診療部
小児科 神経小児科部長)

皆様の御協力を頂き、2年目の編集委員を無事終了できました。有難うございました。



植喜多 美穂
(細木病院 看護部 新3病棟)

初めての年報委員で、とても貴重な経験でした。ご協力いただいた皆様に感謝致します。



山崎 美幸
(細木病院北館 こころのセンター
看護部 北5病棟主任)

皆様のご協力により滞りなく編集作業を終える事ができ、深く感謝いたします。



池上 智仁
(細木病院 医療技術部
放射線室 係長)

過去の年報を読み返すと当時の忘年会を思い出します。来年こそは開催したいですね。



田村 幸大
(細木病院 在宅部 事務室)

3Dオリジナルマスコットキャラクターのネコたちともに広報強化に取り組んでいます。



川江 忍
(細木病院 ほそざ入退院サポートセンター
患者サポート室)

初めての年報委員でしたが無事終える事ができました。ご協力ありがとうございました。



村木 薫
(細木病院 事務部
診療情報課)

皆様のご協力で2年間無事務める事ができ感謝です。人生の節目に良い経験ができました。



澤村 美代子
(三愛病院 看護部
看護部長室(愛2病棟) 事務)

初めての編集委員でしたが、皆様のご協力で無事終えることができました。



澤田 恵里
(三愛病院 医療技術部
地域医療連携室 主任)

代打で1年間、皆様のおかげで無事務めることが出来ました。ありがとうございました。



鳴瀧 菜々
(三愛病院 事務部 医事課)

周りの方々に助けていただき無事務めることができました。皆様のご協力に感謝致します。



黒岩 千佳子
(日高クリニック グループホーム
ひだかの里めだか 介護福祉士)

初めての年報委員。色々勉強させて頂きました。ありがとうございました。



木下 浩一
(仁生会本部 人事部
広報課 主任)

皆様、今年もご協力くださりありがとうございました。



西田 江見
(仁生会本部 人事部庶務課・
細木病院 図書室司書兼務)

本年度は、新たに開設したほそざ入退院センターが表紙を飾り新しい気持ちで編集に携われた1冊になりました。